

2018年8月吉日

関係クライアント・同業者各位

株式会社感動・創庫
ポスティング事業部
代表取締役 芦川永光

マグネット配付物取り扱いに関する決定事項

日頃から、当社のポスティングサービスをご愛顧くださり、誠にありがとうございます。

当社は2018年8月より、主に水道修理業者様が広く活用されているマグネット配付物について、今後一切取り扱わないことを決定いたしました。今回の決定に至った理由としては大きく2つ、環境負荷、生活者様への配慮がございます。

まず、環境負荷について。そもそも過剰に生産され、ポストへ投函される現状においては、資源の浪費と言わざるを得ません。また「樹脂素材にマグネット粉を付着させただけなので可燃ゴミとして取り扱える」とされておりますが、当社が独自でいただいた専門家からの意見によると、世界の約7割の焼却炉が存在する日本の国土において、金属を含んだゴミの燃焼は大気汚染の重大な要因となっているとの研究結果があるそうです。

そして、生活者様への配慮という理由について。ポストを介して配付物を受け取る伊勢原・厚木の生活者様からのご意見を総合したところ、配付の始まった当初はいざという時のために保管する意識があったが、その後も頻繁に届くようになった今では、大半が役には立っていないという実情でした。また、これらを可燃ゴミとして認識されている方は少なく、処理のしづらいものとして家で保管されている実態もありました。

以上の見解から、地元企業様からの配付物を取り扱う業者として、マグネット配付物はこの地域から無くしていくべき、という考えに至りました。

現状、当社はポスティング業者ですが、これまでにない「全ての人が受け取って嬉しいものを届ける」新しい事業を鋭意計画しており、全国のポスティング事業者様へ、おこがましくも勇気を持って、未来のあるべき姿勢を示す立場でもあります。

古くは江戸時代から続くとされるポスティングですが、消費社会に終わりが見え、「私たちの取り扱っている配付物は果たして、生活者様本位になっているか」という一点について、ポスティング業者は自らを見直すことが迫られています。もちろん、広告の不要論を述べるのでは決してなく、むしろ多くの人へサービスの存在を知らせる有効な手立ては不可欠です。しかし、マグネット配付物は事業者様本位、発信者本位になっている今、欲しい時に求める量だけをお届けする別のやり方に代わる必要があります。

私は今回の決定を含めた意思表示が、一人でも多くの同業者様へ届くことを願いつつ、業界全体での改善・進化を目指して、邁進していきたい所存です。ここまで読んでくださり、誠にありがとうございました。今後ともどうぞよろしく願いいたします。